

特別活動

「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせるとは

「集団や社会の形成者としての見方・考え方」とは・・・

- ◇特別活動の特質が、**学級・学校生活における課題**を見だし、解決に向けて取り組む実践的な活動であるということ
- ◇特別活動と各教科等とが往還的な関係にあり、各教科等における「見方・考え方」を働かせて**各教科等で学んだことを実際の生活において総合的に活用**して実践するということ

を踏まえたもの

「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせるということは・・・

- ◇子供たちが各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び**集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現**に向けた実践に結び付けること

例えば、学級活動(1)に沿って、「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせることについて考えてみると・・・

必要感のある議題の選定

- ◇提案者の思いや願いをしっかりと踏まえ、学級生活の充実や向上のために、計画委員会において、「話し合う必要性が高いものか」「学級全員で話し合うべき内容であり、学級全員で協力して解決できるものか」「自分たちで解決できる問題か」などの視点で整理し、望ましい議題を選定したり、決定したりする

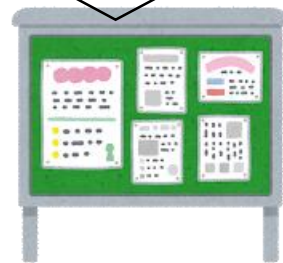


自分の考えを持たせる手立て

- ◇事前に「議題」「提案理由」「話し合うこと」「決まっていること」などを学級会コーナーに掲示して話し合いの全体的なイメージをもたせ、学級全員で共通理解を図ることができるようにするとともに、一人一人が議題について学級会ノートに自分の考えを書くようにする

意見の可視化・操作化・構造化

- ◇よりよい合意形成のために、短冊を活用して意見を分類・整理したり、短冊の色を変えて意見の内容を捉えやすくしたりする



このような実践を積み重ねることで・・・



集団や社会をよりよく形成する人間を育むことにつながる